

## 「法律、～法の英語訳について」

参考情報：日本法令外国語訳データベースシステムとして法務省の Japanese Law Translation のホームページ (HP)  
URL: <http://www.japaneselawtranslation.go.jp/?re=01>

この HP 情報は、英語対応だけです。なお、注意として次の情報も書かれています。

- ・「掲載している全ての翻訳は、公定訳ではありません」  
→公定訳って何？と調べてみると、「国際条約や国内法令の正文以外の言語への公式な訳」。では、この法務省の英語訳は、国際的には公式ではないことになってしまう。まあ、参考として、～法などの具体名称の英訳候補とするのは良いかと。
- ・「利用規約に従い、引用し、複製し又は転載して差し支えありません」  
→情報の再利用問題ないとのことなので、私たちの英訳時に使用することに問題ないとのことなので、安心。

法律関係の用語を英訳する際に、法令検索や辞書検索などのメニューもあり、有効に参照できる情報源かと思います。

この参考資料より少し自分なりに調べた結果を展開します。以前に実施した翻訳で民法を Civil Law と訳したことがありましたが、Civil Code が正しい英訳であったのかとの気づきもあり。

法律を表現する英語の使い分け

law: 法律一般名称としての意味の場合。具体的な～法では、使用しない。使い方としては、  
法による: by law、法全体や法体系: The law、ある法を指すばあい: a law、判例法など: laws など

Act: 法律名に用いる場合。(議会制定法などに用いる)

会社法: Company Act、商標法: Trademark Act、戸籍法: Family Register Act など

Code: いわゆる法典。(制定法、法律集・命令集を表す)

民法: Civil Code、刑法: Penal Code、商法: Commercial Code など

ただし、法令番号を表現する場合は、Code ではなく Act を使うようです。以下例は民法の場合:

明治二十九年四月二十七日法律第八十九号: Act No. 89 of April 27, 1896

会社法は Act で、商法は Code とする使い分けの根拠は何なのだろうとの疑問への明確な回答は見つけることができませんでしたが、確かに Company Code だと、会社固有の ID のような情報と誤解することになりそうなのかなとも解釈します。

日本国憲法は、“The Constitution of Japan” ですが、その他の法律関係として、

Order: ～省令。

法務省令: Ministry of Justice Order、環境省令: Order of the Ministry of the Environment など

Ordinance: 条例。

地方公共団体が定める自主法。

Regulation: 規制、規則。

法令や条例の中の具体的な規則などを指す場合に使用するのかと思います。

Statute: 法規、法令などの一般名称。

像の statue と似ていますが、語源としてラテン語の statuam からきているようで、「立てられたもの」の意味で、(立てられている) 像や、(立法機関で立てられた) 法を指す一般名詞となっているようです。同じ語源からは名声を表現する stature (積み上げられたものの高さ) もありますね。law と statute の違いの確認は未実施です。。。

法令などの簡単な確認を行ったところで、そう言えば、弁護士の英語も色々ありそうだな と思い、これも少し調べた結果をまとめてみます。

最初の疑問は、lawyer と attorney の違いって何だろう。から始まりました。

lawyer: 弁護士、法律家。法律に関わる人全般を指す一般的な語とのこと。

attorney: 主に米国で用いられる事務弁護士や法廷弁護士。事務弁護士は counselor と表現される場合もあり。

英国での表現は、米国とは異なっていて、

barrister: 法廷弁護士で、法廷に立ち法廷での弁論や証拠調べを行う弁護士。

solicitor: 事務弁護士で、主に事務的な仕事をする弁護士。依頼人から直接依頼を受け、法的アドバイスや法廷外の訴訟活動を行う弁護士。

Barrister の名称は、コーヒーショップのエスプレッソを作るバリスタを思い描いてしまっていますが、こちらの方は、barista でイタリア語でした。

ちなみに法律事務所や顧問弁護士などは、law や lawyer を使うようですね。これも特定の弁護士を指すわけではなく、一般的な法律関係の名称として law が使われるのだらうと納得。

法律事務所 : Law Office

顧問弁護士 : a family lawyer

とりあえず、ここまで。今後もお役立ち情報や面白い情報など少し参考となる情報を描いてみます。